

## 岡崎 裕一 議員



### 耕作放棄地の復活・活用を

**問** 農業者の高齢化などにより荒れた畑が増加しています。町としてどの程度把握し、また、JA・試験場などとの情報の共有はできていますか。

荒れた畑を優良園に復活させる施策や、そのまま利用する対策について伺います。

### 事業や補助金で対策

**答** 新たな耕作放棄地を生み出さないように大規模な圃場整備や農地バンクなどの対策を行っています。

補助金などの情報は自治会長集会などでお知らせしており、園内道の整備などに上手に活用していただきたい。

耕作放棄地は、病害虫の原因やイノシシの住処になります。

### 危険廃屋の現状と対策は？

**問** 今後増えることが予想される危険な廃屋の情報は、どのように扱われていますか。

命にかかわる問題でもあるため、住宅密集地や道沿いの危険廃屋は防災事案として、条例や法令をもってスピード感のある対策をお願いしたいが、町の考えを伺います。

### 粘り強い対策を行いたい

**答** 空家情報提供が117件、そのうち解体・改善済が64件、調査中が53件となっています。

所有者の特定に時間と労力が必要ですが、自治会や関係者と連携して、危険な空家の所有者などに対し、適正な管理について、今後も粘り強く対策を講じていきたい。

## 竹田 茂伸 議員



### 橘医院の入院再開はいつ？

**問** 現在、橘医院については入院ができないことから不安を抱え、住み慣れた地域で安心して暮らせる状況ではありません。

休床化の町民説明の際には、新規採用職員の訓練終了後、入院を再開するということが、それがいつからですか。

### 確定できないが再開したい

**答** 現在は、再開予定日を確定することができない状況ですが、新型コロナウイルス感染症の状況や、4月に採用した看護職員等の教育の進捗状況、各医療機関の病床利用状況を見ながら再開したい。

### 郵便局の活用で住民サービスを

**問** マイナンバーカードの普及と令和3年5月公布の郵便局事務の自治体事務拡大（転出証明書の引き渡しや印鑑登録の廃止申請の受付）は、行政事務の効率化と住民の利便性向上につながります。

今後の少子高齢化社会を考え、早急に取り組んでいただきたい。

### 施設の統廃合と並行して検討

**答** 多くの課題を抱える本町において郵便局への行政事務の一部を委託することは、行政改革を進めるうえで重要な施策と考えており、今後の方針として先進地の事例等を参考にし、継続して町内の郵便局との協議、情報交換の場を持ちたい。



地域に密着した郵便局で行政窓口事務の支援拡大を。